

※受理年月日	年 月 日
※受理番号	
※備考	

大規模小売店舗届出書

令和7年 7 月 22 日

沖縄県知事 殿

株式会社ドラッグストアモリ
代表取締役 森 竜馬
福岡県朝倉市一木1148番地の1



大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称 (仮称) ドラッグストアモリ具志店
所在地 沖縄県那覇市字具志字知座原892番1

2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小 売 業 者		住 所
氏 名 (名 称)	代表者 (法人の場合)	
株式会社ドラッグストアモリ	代表取締役 森 竜馬	福岡県朝倉市一木1148番地の1

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和8年 3 月 23 日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

1, 482 m²

5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

符号	駐車場の種類	収容台数	1台当たりの区画の面積 (㎡)	位 置
		(うち、軽自動車専用台数)	(うち、軽自動車専用区画)	
—	建物外平面駐車場 (自走式)	55台	$5.0\text{m} \times 2.5\text{m} = 12.5\text{㎡}$ $4.0\text{m} \times 2.5\text{m} = 10.0\text{㎡}$ $5.0\text{m} \times 3.5\text{m} = 17.5\text{㎡}$	建物南側 〔資料-3 平面図兼配置図上 (p.21)〕
		(0台)	—	

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

符号	収容台数	備 考 (原動機付自転車等が駐輪した場合の収容台数)	位 置
—	12台	9台	建物敷地西側 〔資料-3 平面図兼配置図 (p.21)〕

※駐輪スペース 0.6m×2.0m、原動機付自転車等駐輪スペース 0.8m×2.0m

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

符号	面 積	(うち、搬出入車輛駐車 スペース面積)	(搬出入車輛の駐車可能 台数)	位 置
—	40㎡	40㎡	1台	建物西側 〔資料-3 平面図兼配置図上 (p.21)〕

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

符号	容 量	施設面積×高さ (㎡×m)	位 置
—	9.11m³	$6.08\text{㎡} \times 1.5\text{m} = 9.11\text{m}^3$	建物西側 〔資料-3 平面図兼配置図上 (p.21)〕

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻 24時間営業

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯 24時間

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

符号	駐車場No.	出入口の数			位 置
		入口	出口	出入口	
—	建物外平面駐車場 (自走式)	0	0	2	建物敷地南側 〔資料-3 平面図兼配置図上 (p.21)〕

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯 24時間

添 付 書 類

1 法人にあっては、その登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し

別添のとおり

2 主として販売する物品の種類

図面No.	小売業者の氏名又は 名称及び代表者の氏名	小売業者（小売業者 以外の者）の所在地	主として販売する 物品の種類	開店 時刻	閉店 時刻
資料－3	株式会社ドラッグストアモリ 代表取締役 森 竜馬	福岡県朝倉市一木 1148番地の1	住・生活関連用品 医薬化粧品、食料品等	0時	24時

※小売店舗と利用者が概ね一致すると想定される小売業以外の施設
該当なし

※小売店舗と利用者が異なる小売業以外の施設
該当なし

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

(1) 建物の位置を示す図面

- ・別添「資料－1 建物位置図（広域図）（p.19）」参照
- ・別添「資料－2 周辺見取図（p.20）」参照
- ・別添「資料－3 平面図兼配置図（p.21）」参照
- ・別添「資料－4. 1 周辺道路状況図（1）（p.22）」参照
- ・別添「資料－4. 2 周辺道路状況図（2）（p.23）」参照
- ・別添「資料－5 案内経路図（p.24）」参照
- ・別添「資料－6 動線計画図（p.25）」参照

(2) 小売業の配置を示す図面

- ・別添「資料－3 平面図兼配置図（p.21）」参照

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 駐車場

《指針の計算式による場合》

事 項	数 値	算出根拠等
S : 店舗面積	1.482千㎡	
地区の区分	その他地区	(理由 ; 工業地域)
S' : 小売業以外の複合施設面積の合計	0㎡	$S' < S \times 0.2$
A : 店舗面積当たり日來店客数原単位	1,055.54人/千㎡	人口40万人未満・1,100-30S (S<5)
B : ピーク率	14.4%	経済産業省指針数値
L : 駅 (バスターミナル) からの距離	— m	—
C : 自動車分担率	70%	人口10万人以上40万人未満
D : 平均乗車人員 (小数点第3位四捨五入)	2.0人/台	10千㎡未満
E : 平均駐車時間係数 (小数点第3位四捨五入)	0.64	10千㎡未満・ $(30+5.5S) / 60$

○小売店舗へのピーク1時間当たりの自動車来台数 (79台)

$$A \times S \times B \times C \div D = 1,055.54 \text{人/千㎡} \times 1.482 \text{千㎡} \times 14.4\% \times 70\% \div 2.0 \text{人/台} \\ = 79 \text{台 (端数切り上げ)}$$

○必要駐車場台数 (51台)

$$79 \text{台} \times E (0.64) = 51 \text{台 (端数切り上げ)}$$

当該大規模小売店舗駐車場設置台数 55台 ≥ 必要駐車場台数 51台

(内訳) ↓

小売業に係る駐車場設置台数	55台
小売業以外に係る駐車場設置台数	26台

符号	名 称	業態	必要駐車場台数 (台)	当該小売店舗駐車場 との共用台数	算出根拠等
—	従業員用駐車場	—	26台	0台	ピーク時における自動車通勤予定従業員数より
—	併施設設用駐車場	—	0台	0台	
合 計			26台	0台	

(その他記載する事項)

駐車場の分散確保の有無	理 由
無	建物敷地内において指針で求める必要駐車台数を確保しており、計画している駐車場形式及び駐車場出入口の数や位置について、周辺道路の交通に与える影響が少ないと考えられるため。

《指針の計算式によらない場合》

該当なし

(2) 駐輪場について <指針参考値に基づく算出>

符号	駐輪場の収容台数 (台)	算 出 根 拠	備 考
—	12台	必要駐輪台数=店舗面積÷35㎡ $=1,482\text{㎡} \div 35\text{㎡} = 42\text{台}$ ※上記計算式は、自転車を利用する来客の割合が高いと考えられる商業地区における食品スーパー及び総合スーパーにおける現状の整備台数から試算した場合の参考値となる。 よって、下記のとおりパーソントリップに基づき必要駐輪台数を算出する。	自動二輪車駐車場0台 原動機付自転車共用9台

<パーソントリップに基づく算出>

事 項		備 考													
ア) ピーク時自動車来店台数	79台	大店立地法指針の算定式より													
イ) 来店自動車台数に対する自転車の割合	16.8%	「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」から那覇市が該当する地方都市圏における私用目的（買物）分担率より、平日の値を用いると、 <table><tr><td></td><td>自動車(a)</td><td>自転車(b)</td><td>(a)に対する(b)の割合</td></tr><tr><td>平日</td><td>66.1%</td><td>11.1%</td><td>16.8%</td></tr><tr><td>休日</td><td>80.0%</td><td>6.1%</td><td>7.6%</td></tr></table>			自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する(b)の割合	平日	66.1%	11.1%	16.8%	休日	80.0%	6.1%	7.6%
	自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する(b)の割合												
平日	66.1%	11.1%	16.8%												
休日	80.0%	6.1%	7.6%												
ウ) 平均駐輪時間係数	0.64	大店立地法指針の算定式より													
必要駐輪台数	9台	ア×イ×ウ（端数処理：切り上げ）													

■必要自動二輪車駐車台数

<パーソントリップに基づく>

項 目	予測数値	予測数値の根拠等												
ア) ピーク時自動車来店台数	79台	大店立地法指針の算定式より												
イ) 自動二輪車分担率	2.6%	「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」から那覇市が該当する地方都市圏における私用目的（買物）分担率より <table><tr><td></td><td>自動車(a)</td><td>二輪車(b)</td><td>(a)に対する(b)の割合</td></tr><tr><td>平日</td><td>66.1%</td><td>1.7%</td><td>2.6%</td></tr><tr><td>休日</td><td>80.0%</td><td>0.8%</td><td>1.0%</td></tr></table>		自動車(a)	二輪車(b)	(a)に対する(b)の割合	平日	66.1%	1.7%	2.6%	休日	80.0%	0.8%	1.0%
	自動車(a)	二輪車(b)	(a)に対する(b)の割合											
平日	66.1%	1.7%	2.6%											
休日	80.0%	0.8%	1.0%											
ウ) 平均駐車時間係数	0.64	大店立地法指針の算定式より												
必要自動二輪車駐車台数	2台	① ア×イ×ウ（端数処理：切り上げ）												

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

①周辺見取図の作成

(1) 来客自動車の案内経路及び帰路

- ・別添「資料－5 案内経路図 (p. 24)」参照
- ・別添「資料－6 動線計画図 (p. 25)」参照

(2) 経路案内板、駐車場の空き状況を示す表示板等の設置場所

- ・別添「資料－6 動線計画図 (p. 25)」参照

(3) 車線数、交通量調査を行った交差点等の位置

- ・別添「資料－4. 1 周辺道路状況図 (1) (p. 22)」参照
- ・別添「資料－5 案内経路図 (p. 24)」参照

(4) 信号機、横断歩道等、交通規制（一方通行等）、駐車場出入口に接する道路の歩道等の有無

- ・別添「資料－4. 1 周辺道路状況図 (1) (p. 22)」参照

(5) 学校等との位置及び通学路

- ・別添「資料－4. 2 周辺道路状況図 (2) (p. 23)」参照

(6) バス停留所

- ・別添「資料－4. 2 周辺道路状況図 (2) (p. 23)」参照

(7) 路上駐車

- ・計画地周辺道路において、路上駐車等は見受けられない。

(8) 搬出入車輛の経路

- ・別添「資料－6 動線計画図 (p. 25)」参照

(9) 経路上にある他の大規模小売店舗や大規模な集客施設等

- ・計画地の南側にはスカイウエルネススポーツ、東側には業務スーパー小緑店やスカイレーンが立地する。

②各案内経路別来台数割合の予測結果及び算出根拠

- ・別添「資料－5 案内経路図 (p. 24)」参照
- ・別冊資料「(仮称) ドラッグストアモリ具志店 交通処理計画報告書」参照

③交通量調査結果の添付

- ・別冊資料「(仮称) ドラッグストアモリ具志店 交通処理計画報告書」参照

④交差点交通量の予測結果について

- ・別冊資料「(仮称) ドラッグストアモリ具志店 交通処理計画報告書」参照

⑤出入口の形式について

- ・自走式平面駐車場で発券ブース等の設置なし（駐車待ちスペース必要なし）
- ・右折入出庫の検証について

「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針」には、来客の自動車が極力駐車施設へ右折入庫することとならないように経路を設定することとされ、駐車場への経路が右折を伴うように設定された場合には、来客の自動車による右折待ち渋滞等が発生しないよう配慮することとされている。

当該店舗の駐車場に接道する市道具志73号線は現在整備中であり、又、別添「資料－4. 1 周辺道路状況図 (1)」に示すとおり、道路形状から接道する施設利用者のみが利用するものとされ、一般通行車両はほとんどないものと推察（現状の利用はほとんど見受けられていない）される。

よって、右折による来客自動車台数に対し、市道具志73号線を通行する車両に与える影響が小さいため、右折入出庫の検証は行わない。

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

- ・周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面

別添「資料－5 案内経路図 (p. 24)」参照

- ・経路等を来店者に知らせる方法

項 目	具 体 的 な 内 容
案内表示の設置 (看板等)	・建物敷地南側には広告塔、各出入口には案内表示看板を設置する。 別添「資料－6 動線計画図 (p. 25)」参照
ちらし等の配付	・オープン時や繁忙時など多くの来店車両が見込まれる際には、新聞折り込みチラシに案内経路図を掲載することで、事前に情報提供を行う。
交通整理員の配置	配置場所：別添「資料－6 動線計画図 (p. 25)」に示す場所以外に来客の誘導あるいは交通安全上重要な地点に配置する。 人 数：2名程度（オープン時や繁忙時のみ、状況に応じて適宜増員する） 配置日時：午前8時30分～午後8時00分
そ の 他	・オープン時対策として、地元警察署と協議を行い、来店車両の誘導及び歩行者の安全対策に努めていく。 ・オープンに伴って来店車両により周辺道路の交通流に変化が生じ、周辺地域の生活道路に渋滞等の影響が生じた場合には、関係機関と協議を行い、必要な対策を講じていく。

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき施設			
時間帯	車両の大きさ	車両台数 (台)	平均的な処理時間 (分)
6 時台	10 t 車	1台	20分
7 時台		0台	0分
8 時台		0台	0分
9 時台		1台	20分
10 時台		0台	0分
11 時台	4 t 車	0台	0分
12 時台		0台	0分
13 時台		0台	0分
14 時台		0台	0分
15 時台		0台	0分
16 時台		0台	0分
17 時台		0台	0分
18 時台		0台	0分
19 時台		0台	0分
20 時台		1台	20分
21 時台	4 t 車	0台	0分
22 時台		0台	0分
23 時台		0台	0分
0 時台		0台	0分
1 時台		0台	0分
2 時台		0台	0分
3 時台		0台	0分
4 時台		0台	0分
5 時台		1台	20分
合 計		4台	

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
無	—	—	—	—

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

No.	項 目		設置の有無	稼働時間帯	位 置	
	種 類	形 式				
1	室外機1	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
2	室外機2	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
3	室外機3	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
4	室外機4	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
5	室外機5	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
6	室外機6	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
7	室外機7	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
8	室外機8	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
9	室外機9	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
10	室外機10	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
11	室外機11	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
12	室外機12	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
13	室外機13	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
14	室外機14	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
15	室外機15	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
16	室外機16	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
17	室外機17	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
18	室外機18	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
19	室外機19	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
20	室外機20	R40XEP	有	終 日	1 階部(0.3m)	資料-7
21	冷凍冷蔵庫屋外機1	ECOV-D98MA1	有	終 日	1 階部(2.0m)	資料-7
22	冷凍冷蔵庫屋外機2	ECOV-D75MA1	有	終 日	1 階部(2.0m)	資料-7
23	冷凍冷蔵庫屋外機3	ECOV-D55WA1	有	終 日	1 階部(0.8m)	資料-7
24	冷凍冷蔵庫屋外機4	ECOV-D45WA1	有	終 日	1 階部(0.8m)	資料-7
25	排気口1	EFG-30SB2	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
26	排気口2	EFG-30SB2	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
27	排気口3	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
28	排気口4	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
29	排気口5	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
30	排気口6	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
31	排気口7	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
32	排気口8	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
33	排気口9	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
34	排気口10	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
35	排気口11	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
36	排気口12	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
37	排気口13	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
38	排気口14	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
39	排気口15	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
40	排気口16	VD-25ZX13-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
41	キュービクル	キュービクル a	有	終 日	1 階部(1.5m)	資料-7

・別添「資料-7 騒音発生源位置図 (p.26)」参照

○等価騒音レベルの予測地点

予測地点	位 置	用 途 地 域	予 測 位 置(m)		
			X	Y	Z
A地点	建物敷地南側店舗敷地内	工業地域	-14.3	-55.8	2.0
【選定根拠】 A地点: 駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けられる店舗敷地内とした（2階建て1階部）。 ※ 建物敷地東側には店舗が立地しており、北側には航空自衛隊那覇基地、西側には駐車場用地が面しているなど、騒音の影響を受け居る住居等の立地がないことから予測地点を選定していない。					

○騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測地点

夜間に騒音を発生する発生源ごとに最も近い計画地敷地境界上とする。

- ・別添「資料－8 騒音予測地点位置図（p. 27）」参照

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

地点	地域の類型	環境基準値		予 測 値			評 価
				一般住居等		高層住居等	
				遮音壁無	遮音壁有		
A地点	C類型	昼 間	60	41.2	—	—	適 合
		夜 間	50	37.7	—	—	適 合

※指針に示された予測式等に基づく計算過程は、別冊「（仮称）ドラッグストアモリ具志店 騒音予測評価報告書」に示す。

1.1 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

	騒音発生源	地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
				遮音壁無	遮音壁有	
定	1 室外機1	第4種	55	42	—	適 合
	2 室外機2	第4種	55	49	—	適 合
	3 室外機3	第4種	55	49	—	適 合
	4 室外機4	第4種	55	49	—	適 合
	5 室外機5	第4種	55	49	—	適 合
	6 室外機6	第4種	55	49	—	適 合
	7 室外機7	第4種	55	49	—	適 合
	8 室外機8	第4種	55	49	—	適 合
	9 室外機9	第4種	55	49	—	適 合
	10 室外機10	第4種	55	49	—	適 合
	11 室外機11	第4種	55	49	—	適 合
	12 室外機12	第4種	55	49	—	適 合
	13 室外機13	第4種	55	50	—	適 合
	14 室外機14	第4種	55	50	—	適 合
	15 室外機15	第4種	55	50	—	適 合
	16 室外機16	第4種	55	50	—	適 合
	17 室外機17	第4種	55	50	—	適 合
	18 室外機18	第4種	55	50	—	適 合
	19 室外機19	第4種	55	50	—	適 合
	20 室外機20	第4種	55	46	—	適 合
常	21 冷凍冷蔵庫屋外機1	第4種	55	62	—	不適合
	22 冷凍冷蔵庫屋外機2	第4種	55	62	—	不適合
	23 冷凍冷蔵庫屋外機3	第4種	55	55	—	適 合
	24 冷凍冷蔵庫屋外機4	第4種	55	54	—	適 合
騒	25 排気口1	第4種	55	31	—	適 合
	26 排気口2	第4種	55	31	—	適 合
	27 排気口3	第4種	55	39	—	適 合
	28 排気口4	第4種	55	39	—	適 合
	29 排気口5	第4種	55	39	—	適 合
	30 排気口6	第4種	55	39	—	適 合
	31 排気口7	第4種	55	39	—	適 合
	32 排気口8	第4種	55	40	—	適 合
	33 排気口9	第4種	55	40	—	適 合
音	34 排気口10	第4種	55	38	—	適 合
	35 排気口11	第4種	55	38	—	適 合
	36 排気口12	第4種	55	39	—	適 合
	37 排気口13	第4種	55	39	—	適 合
	38 排気口14	第4種	55	39	—	適 合
	39 排気口15	第4種	55	39	—	適 合
	40 排気口16	第4種	55	41	—	適 合
	41 キュービクル	第4種	55	45	—	適 合
変	47 台車走行音	第4種	55	65	—	不適合
	※ 来客車両走行音1-1	第4種	55	72	—	不適合
	※ 来客車両走行音1-2	第4種	55	68	—	不適合
	※ 来客車両走行音1-3	第4種	55	64	—	不適合
	※ 来客車両走行音2-1	第4種	55	58	—	不適合
動	※ 来客車両走行音2-2	第4種	55	55	—	適 合
騒						
音						

騒音発生源			地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
					遮音壁無	遮音壁有	
定 常 騒 音	※	来客車両走行音2-3	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音3-1	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音3-2	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音3-3	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音4-1	第4種	55	52	—	適 合
	※	来客車両走行音4-2	第4種	55	48	—	適 合
	※	来客車両走行音4-3	第4種	55	46	—	適 合
	※	来客車両走行音5-1	第4種	55	45	—	適 合
	※	来客車両走行音5-2	第4種	55	48	—	適 合
	※	来客車両走行音5-3	第4種	55	52	—	適 合
	※	来客車両走行音6-1	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音6-2	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音6-3	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音7-1	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音7-2	第4種	55	55	—	適 合
	※	来客車両走行音7-3	第4種	55	58	—	不適合
	※	来客車両走行音8-1	第4種	55	64	—	不適合
	※	来客車両走行音8-2	第4種	55	68	—	不適合
	※	来客車両走行音8-3	第4種	55	76	—	不適合
	※	来客車両走行音9-1	第4種	55	63	—	不適合
	※	来客車両走行音9-2	第4種	55	63	—	不適合
	※	来客車両走行音9-3	第4種	55	63	—	不適合
	※	来客車両走行音10-1	第4種	55	62	—	不適合
	※	来客車両走行音10-2	第4種	55	63	—	不適合
	※	来客車両走行音10-3	第4種	55	63	—	不適合
	※	従業員車両走行音1-1	第4種	55	72	—	不適合
	※	従業員車両走行音1-2	第4種	55	68	—	不適合
	※	従業員車両走行音1-3	第4種	55	64	—	不適合
	※	従業員車両走行音2-1	第4種	55	58	—	不適合
	※	従業員車両走行音2-2	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音2-3	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音3-1	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音3-2	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音3-3	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音4-1	第4種	55	52	—	適 合
	※	従業員車両走行音4-2	第4種	55	48	—	適 合
	※	従業員車両走行音4-3	第4種	55	46	—	適 合
	※	従業員車両走行音5-1	第4種	55	45	—	適 合
	※	従業員車両走行音5-2	第4種	55	48	—	適 合
	※	従業員車両走行音5-3	第4種	55	52	—	適 合
	※	従業員車両走行音6-1	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音6-2	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音6-3	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音7-1	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音7-2	第4種	55	55	—	適 合
	※	従業員車両走行音7-3	第4種	55	58	—	不適合
	※	従業員車両走行音8-1	第4種	55	64	—	不適合
	※	従業員車両走行音8-2	第4種	55	68	—	不適合
	※	従業員車両走行音8-3	第4種	55	76	—	不適合

騒音発生源			地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
					遮音壁無	遮音壁有	
変	※	従業員車両行音9-1	第4種	55	63	—	不適合
	※	従業員車両行音9-2	第4種	55	63	—	不適合
	※	従業員車両行音9-3	第4種	55	63	—	不適合
	※	従業員車両行音10-1	第4種	55	62	—	不適合
	※	従業員車両行音10-2	第4種	55	63	—	不適合
	※	従業員車両行音10-3	第4種	55	63	—	不適合
動	※	搬出入車両走行音1-1	第4種	55	74	—	不適合
	※	搬出入車両走行音1-2	第4種	55	69	—	不適合
	※	搬出入車両走行音1-3	第4種	55	65	—	不適合
	※	搬出入車両走行音2-1	第4種	55	59	—	不適合
	※	搬出入車両走行音2-2	第4種	55	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音2-3	第4種	55	56	—	不適合
騒	※	搬出入車両走行音3-1	第4種	55	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音3-2	第4種	55	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音3-3	第4種	55	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音4-1	第4種	55	57	—	不適合
	※	搬出入車両走行音4-2	第4種	55	59	—	不適合
	※	搬出入車両走行音4-3	第4種	55	62	—	不適合
音	※	搬出入車両走行音5-1	第4種	55	54	—	適 合
	※	搬出入車両走行音5-2	第4種	55	50	—	適 合
	※	搬出入車両走行音5-3	第4種	55	47	—	適 合
	48	荷下ろし音	第4種	55	65	—	不適合
	49	搬出入車両荷台扉開	第4種	55	67	—	不適合
	50	搬出入車両荷台扉閉	第4種	55	68	—	不適合
衝 撃 騒 音	51	搬出入車両座席扉開	第4種	55	70	—	不適合
	53	搬出入車両エンジン	第4種	55	70	—	不適合

※指針に示された予測式等に基づく計算過程は、別冊「（仮称）ドラッグストアモリ具志店 騒音予測評価報告書」に示す。

予測の結果、基準値を上回ることが予測された。

<騒音対策の検討>

現在、計画地周辺には住居等の生活環境がないことから、騒音の影響はないものと推察される。

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための、廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠
廃棄物等の排出量予測

廃棄物種別	S：店舗面積 (千㎡)		指 針 原単位	A： 一日当たり 廃棄物排出量 (t)	B： 平均保 管日数 (日)	C： 見かけ 比 重 (t/㎡)	D： 排出予測量 $A \times B \div C$ (㎡)
紙製廃棄物等	6千㎡以下	1.482千㎡	0.208	0.308256 t	1日	0.10	3.08㎡
金属製廃棄物等	6千㎡以下	1.482千㎡	0.007	0.010374 t	1日	0.10	0.10㎡
ガラス製廃棄物等	6千㎡以下	1.482千㎡	0.006	0.008892 t	1日	0.10	0.09㎡
プラスチック製 廃棄物等	6千㎡以下	1.482千㎡	0.020	0.029640 t	1日	0.01	2.96㎡
生ゴミ等	6千㎡以下	1.482千㎡	0.169	0.250458 t	1日	0.55	0.46㎡
その他の可燃性 廃棄物等		1.482千㎡	0.054	0.080028 t	1日	0.38	0.21㎡
合 計							6.90㎡

○廃棄物の種類ごとの排出量予測結果

廃棄物種別	D 小売業からの廃棄物等 排出量予測 (㎡)	※E 小売業以外の施設から の廃棄物等排出量予測 (㎡)	F 大規模小売店舗全体の 廃棄物保管容量予測 (D +E) (㎡)	G 大規模小売店舗に設置 される廃棄物等保管容 量 (㎡)
紙製廃棄物等	3.08㎡	0㎡	3.08㎡	8.26㎡
金属製廃棄物等	0.10㎡	0㎡	0.10㎡	
ガラス製廃棄物等	0.09㎡	0㎡	0.09㎡	
プラスチック製廃棄物等	2.96㎡	0㎡	2.96㎡	
生ゴミ等	0.46㎡	0㎡	0.46㎡	0.85㎡
その他の可燃性廃棄物等	0.21㎡	0㎡	0.21㎡	
合 計	6.90㎡	0㎡	6.90㎡	9.11㎡

※E小売業以外の施設からの廃棄物等排出量予測
該当なし